

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「モロッコ」



第17号(2009年2月16日)

モロッコの基本情報

モロッコ王国はアフリカの北西部に位置する自然豊かな美しい国で、16の地域から構成されています。東はアルジェリア、南はモーリタニアに接しています。西は大西洋に面しており、その海岸線の長さは3,500km以上に及びます。また、北は大西洋と地中海の境に位置するジブラルタル海峡を挟んで対岸のスペインまでわずか14キロほどの距離であり、ヨーロッパ、アラブ、アフリカが交じり合った独自の文化を形成してきました。モロッコにはその長い歴史と独自の文化を見守ってきた世界遺産が8つあり、毎年世界中から多くの観光客が訪れています。また、地中海と大西洋に面していることから日本にも輸出されているタコやイカなどの漁業が大変盛んであり、水産物の一大生産国となっています。

モロッコ王国に含まれる16の地域: 1-Oued-Eddahab –Lagouira, 2-Chaouia-Ouardigha, 3 Marrakesh-Tensift-AlHaouz, 4-the Oriental, 5- Casablanca, 6-Rabat-Sale-Zemmour-Zaër, 7-Doukkala-Abda, 8-Tadla-Azilal, 9- Meknes-Tafilalet, 10- Fez-Boulemane, 11-Taza-Taounate-Al Hoceima, 12-Tangier-Tetouan, 13- Laâyoune-Boujdour-Sakia Al Hamra, 14- Guelmim - Essemara, 15- Gharb-Chrarda-Bni Hsen, 16-Souss Massa-Draâ.

首都： ラバト
面積： 710,850km²
人口： 3,086万人（2007年）
言語： アラビア語（公用語）、フランス語
宗教： イスラム教
政体： 立憲君主制
一人あたり所得： 2,250米ドル（2007年）
経済成長率： 2.3%（2007年）
主要産業： 農業、水産業、工業、観光業



世界遺産のアイト・ベン・ハッドウ



出所:モロッコ王国大使館

大使館情報

所在地： 東京都港区南青山5-4-30
面会者： サイド・アイトタレブ・アリ経済参事官、ラホーシン・ラモーニ参事官



アイトタレブ・アリ参事官



ラホーシン・ラモーニ参事官

今回お話を伺ったのは、モロッコ大使館の
サイド・アイトタレブ・アリ経済参事官と、
ラホーシン・ラモーニ参事官です。
お二人とも大変お忙しいスケジュールの中
ご対応いただき、モロッコの国や経済につ
いてわかりやすく教えていただきました。
(2008年10月20日に訪問)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

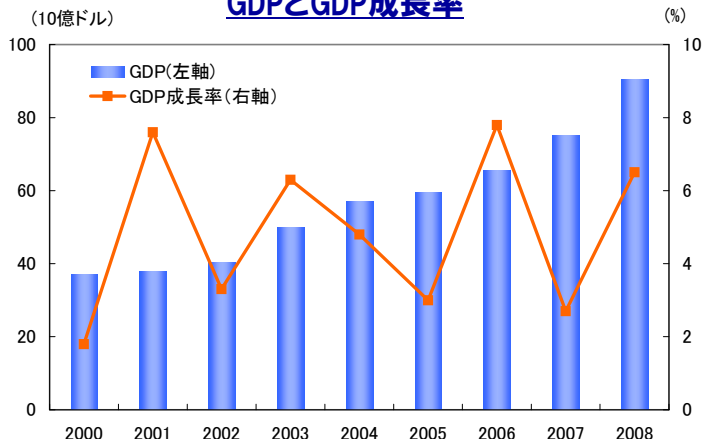


各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「モロッコ」

経済の概況

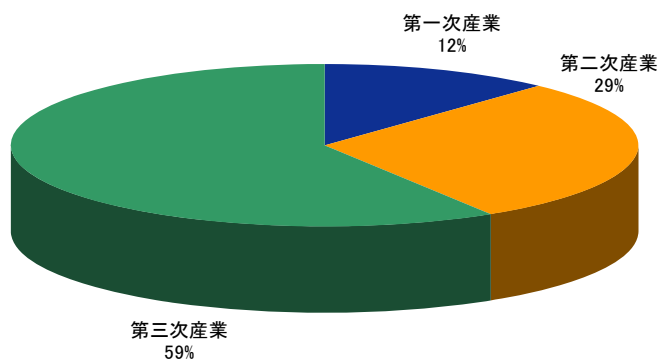
GDPとGDP成長率



年によって多少変動はあるものの、モロッコ経済は2000年以降年平均5%程度の成長を続けてきました。現在は南アフリカやエジプトなどに次いでアフリカ第5位の経済規模を誇ります。

出所: IMF

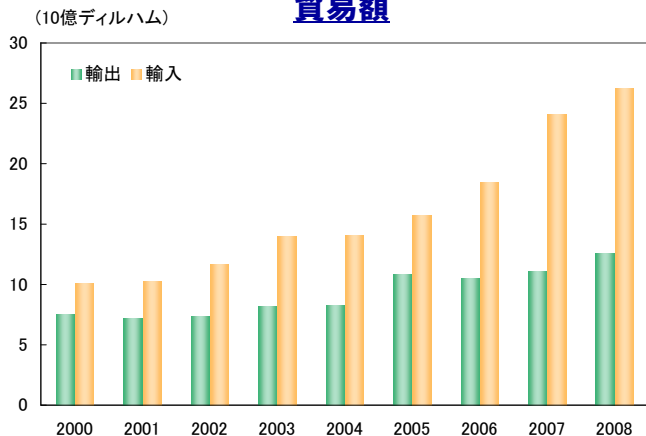
GDPの産業別構成比 (2007年)



農業はモロッコ経済において重要な役割を果たしています。GDPに占める割合は10%程度ですが、労働人口の約40%が農業に従事しています。また、漁業や、リン鉱石を中心とした鉱業、観光業などのサービス産業も盛んで、非常にバランスの取れた経済構造となっています。

出所: モロッコ政府

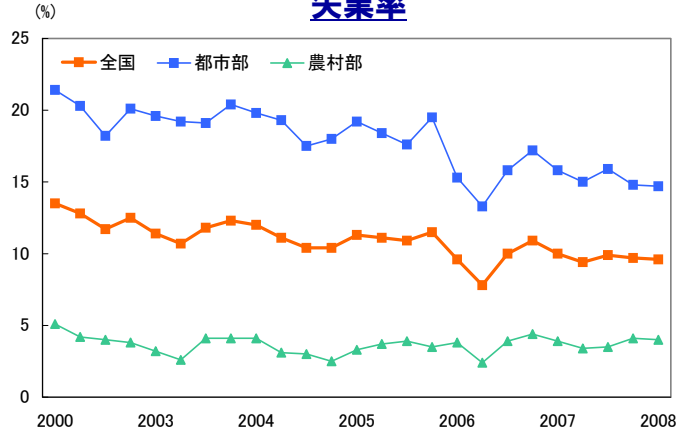
貿易額



モロッコはEUや米国を始めとして各国と積極的にFTAを締結しており、貿易額は順調に拡大しています。農水産物や繊維製品、また世界最大級の埋蔵量を持つリン鉱石を加工して作られるリン酸などの売上げが好調で輸出額は年々増加していますが、一方で原油などエネルギーの輸入も増加しているため、貿易赤字額が拡大しています。

出所: ブルームバーグ

失業率



モロッコでは特に都市部での失業率が高く問題になっていました。しかし、経済の発展とともに建設、公共事業、産業部門などで多くの新規雇用が生み出され、全国の失業率は2000年の13.5%から2008年3月には9.6%まで低下しました。

出所: ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『この国どんな国？』



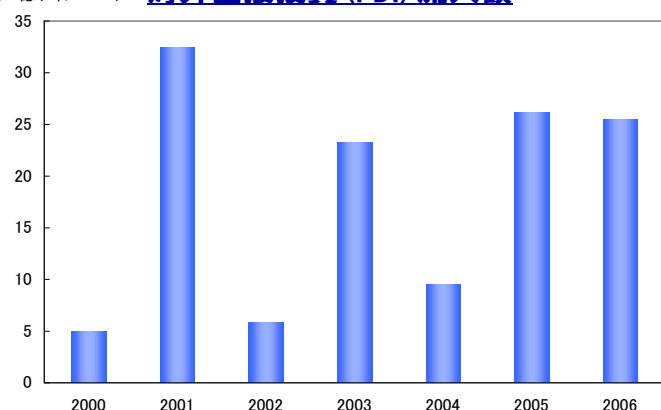
今回ご紹介する国は
「モロッコ」

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



魅力的な投資環境

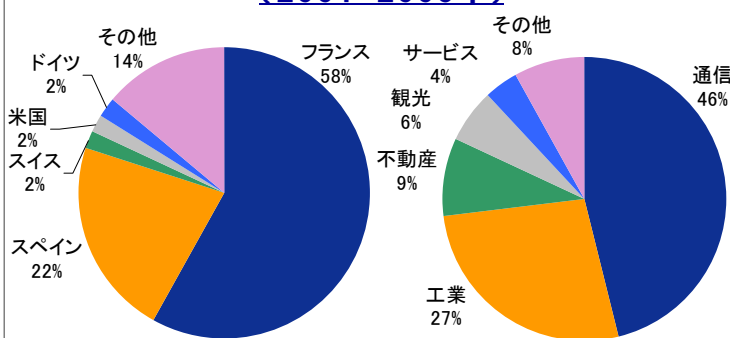
(10億ディルハム) 海外直接投資 (FDI) 流入額



モロッコには有利な税制度、魅力的なインセンティブなど積極的に海外投資をサポートする制度が整っており、1993年に開始された国有企業の民営化プログラム以降、海外からの活発な投資が続いています。また、地理的にも欧州や米国などの巨大市場に近く、製造拠点としての魅力も高まっています。

出所:ブルームバーグ

国別、分野別海外直接投資額 (2001-2005年)



海外直接投資を国別に見ると、旧宗主国であり歴史的な関わりと共に経済・技術協力、人的交流などで極めて緊密な関係を結んでいるフランスからの投資が圧倒的に多く、全体の約6割を占めています。また分野別では1999年の民営化以降急成長を遂げた通信部門への投資が全体の約5割を占めています。

出所:モロッコ王国大使館

フリーゾーンの設置

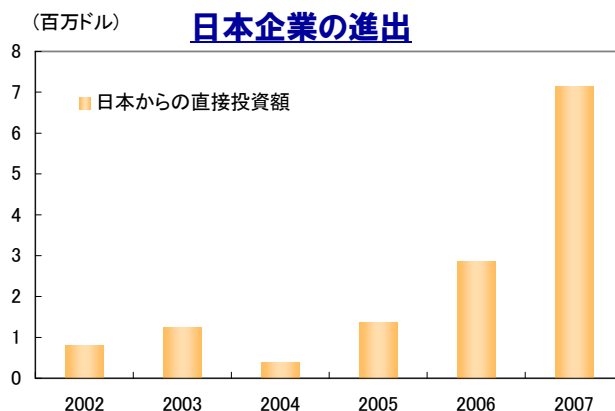
タンジール・フリーゾーンの概要(2006年時点)

- ◆ モロッコ北部、スペインからわずか15Kmの距離
- ◆ 234社がオフィスを設置、143社が創業
- ◆ 18,765人の雇用を創出
- ◆ タンジール国際空港に近く、ハイウェイでラバト、カサブランカ、タンジール港に直結
- ◆ 法人税と所得税の50%減税、他

モロッコには外国企業誘致のため、数多くのフリーゾーンが設置されています。フリーゾーンでは税金の優遇に加え、行政手続きの簡略化や技術援助、不動産の整備、質の高い安価な労働力の提供など各種サービスを提供しています。タンジールはモロッコを代表するフリーゾーンの一つであり、多くの外国企業が進出しています。

出所:モロッコ王国大使館

日本企業の進出



日本からも自動車産業を中心に多くの企業が進出しています。自動車用部品を製造する住友電装や矢崎総業はモロッコに工場を構え、数千人の現地スタッフを雇用しています。また、ルノー・日産は総額6億ユーロを投じ、2010年までに20万台、2013年までに40万台の自動車を生産する工場を建設しています。

出所:外務省、モロッコ王国大使館



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「モロッコ」

中長期的な成長戦略

主要7部門の育成

分野	雇用効果
① オフショア 近隣フランス語圏のリーダーシップ	100,000人
② 自動車 国際規格に合致した専門産業ゾーン	70,000-80,000人
③ 電子機器 自動車・航空機の専用電子機器にフォーカス	10,000人
④ 航空産業 200ヘクタールの航空宇宙ゾーンを開発	17,000人
⑤ 農産業 高い可能性を持つ8-10分野の統合プロジェクト開発	6,000人
⑥ 繊維産業 欧米の流行に沿った最新のファッション	30,000人
⑦ 水産物加工産業 地域漁場のハブの創設	35,000人

出所:モロッコ王国大使館

モロッコでは、中長期的にバランスの取れた経済成長を実現するため、重要な**主要7部門**の開発戦略に焦点をあてて、経済成長と輸出の促進に力を入れています。
例えば、モロッコにはフランス語を話す安価で豊富な労働力と、良質な電気通信インフラがあるため、近隣のフランス語圏の企業の業務をオフショアサービス専用にしたエリア(カサ・ショアなど)に誘致することを目指しています。これらの7部門はモロッコの経済成長の原動力となるだけでなく、合計**約30万人**の雇用創出効果も見込まれています。

インフラ開発計画

期間:2008-2012年
投資総額: 110億ユーロ

分野	目標	時期
高速道路	現在1,000kmの総延長を1,400kmに	2012年
道路	総延長15,000kmの地方道路を建設	2010年
港	モロッコ北部に国際水準のタンジール・メッド港を建設	2012年
空港	国際空港の整備、主要空港の拡張・近代化を実施	-
鉄道	タンジール-カサブランカ間を結ぶ高速鉄道の建設	2009年
公共設備	水道・下水道設備の充実	-
住宅	13の新都市、200,000戸の住宅を建設	-

モロッコは運輸、物流のハブ拠点となることを目指し、インフラ整備を積極的に推進しています。
2008年から2012年までの5年間に計画されているインフラ関連のプロジェクトは、**総額110億ユーロ**にも及ぶ莫大な規模です。

出所:モロッコ王国大使館

高速鉄道の建設



北部のタンジールとカサブランカ間で仏の高速鉄道TGVの建設(総工費約20億ユーロ)が進んでいます。第一区間のタンジール-ケニトラ間は**2013年**に運行が開始される予定で、全線が開通するとタンジール-カサブランカ間の所要時間が、現在の5時間から**2時間強**に大幅に短縮される予定です。

出所:各種報道資料を基に当社が作成



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

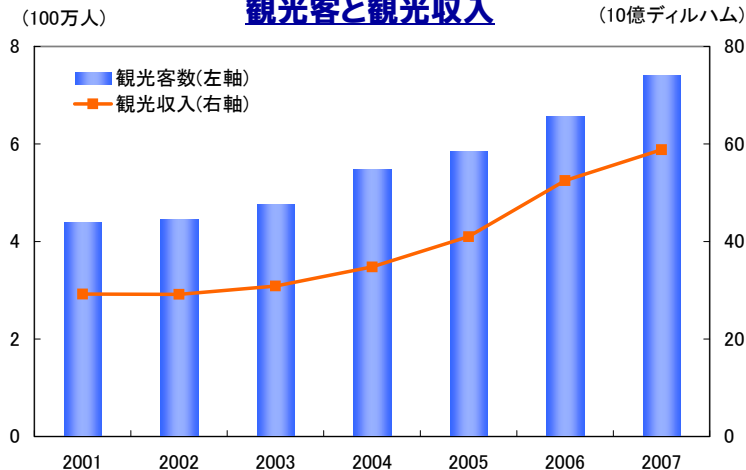
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「モロッコ」

観光開発

観光客と観光収入



出所:モロッコ王国観光省

外国からの観光客は順調に増加し、**2007年**時点の観光客数は**約741万人**に達しました。観光客数の増加とともに観光収入も大幅に増加しており、モロッコの貴重な収入源となっています。モハメッド6世国王はモロッコの外国人観光客数を**2010年までに1千万人**とし、**60万人**の新規雇用を創出することを目標とする「**Vision 2010**」を発表しており、今後も**2010年**にかけて積極的な観光開発やPR活動が行われる見通しです。

リゾート開発

メディテラニア・サイディア

アズール計画 (Azur Plan)

「Vision 2010」を達成するために政府により策定された計画で、概要は以下のとおり。

- **6つの最新の海岸リゾート開発**
- 鉄道網の新設・整備
- 空港の新設・整備
- EUとの航空路線の自由化
- **スペインとモロッコを結ぶ海底トンネルの建設**

出所:Essential Morocco

アズール計画により新たに開発されるリゾートの1つ



場所: 地中海沿岸
規模: **7,000,000m²**
総工費:**16億ユーロ**
完成: **2009年**(予定)

出所:Essential Morocco

訪問を終えて

日本ではあまりなじみのない国ですが、漁業が盛んで実は現在日本で食べられているタコの多くはモロッコから輸入されています。しかし伝統的な漁業や農業だけでなく、政府はフリーゾーンを設けるなどして海外直接投資を積極的に呼び込もうと努力しており、優れた立地条件や安価な労働力が得られることなども手伝って、製造業を中心にすでに多くの外国企業がモロッコに進出しています。さらにリン鉱石などの天然資源や観光資源も豊富なモロッコは、今後もそれらの強みを生かした力強い経済発展が期待できると感じました。



(これらは全て2008年12月末現在の情報です)

取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。